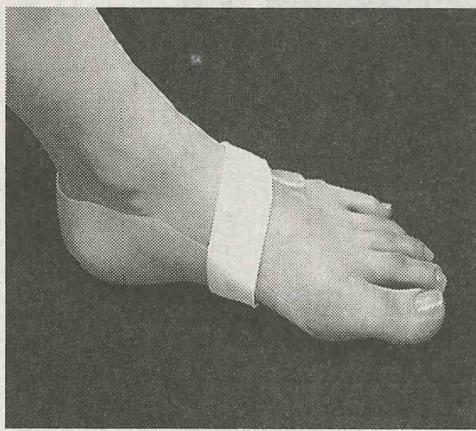


特殊高分子ポリマー拡販



特殊高分子ポリマーを使用した歩行補助用の足底装具(試作品)

工業用ゴム・合成樹脂製品を取り扱う総合商社、太田廣（オオタヒロ、本社名古屋市中川区十一番町、太田直実社長、電話052・661・6161）は、ポリウレタンの新素材「特殊高分子ポリマー」を拡販する。同新素材は、形状固定、変形後回復、エネルギー散逸などの機能性に優れており、点滴時の固定装具、歩行補助用の足底装具、握りやすい杖用グリップなど幅広い用途開発が可能。ヘルスケア産業を中心に販路開拓に取り組み、3年後の2018年10月期には、同新素材で売上高5千万円を目指す。

ハルスケア産
円を目指す。
(水谷英志)

点滴時の
固定器具など
ヘルスケア向け開拓

特殊高分子ポリマーは、材料形態の多様性があるポリウレタン新素材。一定温度以上の環境で形状をつくり、冷却することで形状固定される。また、変形して再加熱すると、固定形状に復元する機能がある。水蒸気透過性、エネルギー散

逸の機能も高い。
太田廣は素材メーカーの
販売窓口で、同社特販部ス
タッフ4人が担当。樹脂成
形メーカーで成形加工した
上で、福祉機器・医療機器
メーカー、国立大学病院な
どに採用を働きかけてい
る。

現在、樹脂の成形試作メカニズムを用いて、射出成形機と連携して、点滴時の固定具、歩行補助用の足底装具、握りやすい杖用グリップなど、ヘルスケア分野のアイテムを商品展開している。3年後までに20アイテム以上の商品化を見込んでいます。

は、形状復元など機能性が高く、用途開発の可能性は大きい。今後は徐々に商品アイテム数を増やし、これまでにない新たな需要を開拓したい」と展望している。同社は1951年創業。15年10月期売上高は106億円。従業員数は200人。

事例紹介や成功法解説

事業承継・M&Aセミナー



対談する酒井氏(左)と荻野氏

企業のM&A（合併・買収）を支援するコンサルティング企業、名南M&A（本社名古屋市中村区）は10日、名古屋市中村区名駅のJPタワー名古屋で「事業承継・M&Aセミナー」を開催した。M&Aによる事業承継をテーマに、中小企業の事例が解説されたほか、専門家による講演が行われた。

セミナーは2部構成で、第1部のテーマは「地域密着型マーケティング会社社長が語る事業承継の思い」。印刷・広告企画制作を手掛ける知多印刷（半田市）の

発・製造を手掛けた東海商事（名古屋市瑞穂区）をM&Aで譲り受けた経緯について、聞き手の荻野恭弘名南M&A会長との対談形式で解説した。

酒井社長は、東海商事に注目した理由を「品質管理がしっかりとしており、優良顧客が多くいた」と説明した。M&Aを決断する際の

ポイントは業績も大事
社員と円滑
ことができ
重要」と指
第2部の承
承継を成功
ポイント」
土地建
康人名南

戦火に巻き込まれ、海を漂流し、敵国である日本軍に見つかり、捕虜になりながら耐え抜いていく彼の姿には平穏な日々を送る私たちにとつてはセンセーショナルでし

☆時折

康士ポ承 重こ社業ポマ ☆不屈の男 アンブローケ

人名で室を継ぎ、第2要出た。

地建業部の「成功ソフト」と指揮官の「作戦指揮」は、まさに「大事件」の出来事である。

卷之三十一